

マレーシアにおける現地情報

2021年 7月 29日

株式会社フェアコンサルティング

青木 貴宣

1. 新型コロナウイルス流行に対するマレーシア政府の経済対策

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けた会社が従業員の雇用を継続するため、マレーシア政府は2020年3月からWage Subsidy Programme (WSP、マレー語略ではPSU) と呼ばれる補助金プログラムを複数回にわたり実施してきました。

マレーシアのムヒディン・ヤシン首相は6月28日、継続的な財政支援としてPEMULIHを発表し、新たなWSP4.0プログラムを導入されました。申請期間は8月1日からとなります。前回のWSPは、月額給与がRM4,000以下であるのが条件でしたが、今回のWSP4.0はその条件を満たす必要がなくなりました。

概要は以下のとおりとなります。

補助金概要	<p>【新規プログラム】PEMULIHにおけるWSP 4.0</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのセクターに対してWSP4.0の要件を満たすことで、対象となる従業員一人当たりRM600/月が2か月間支給される。 「国家回復計画」第3段階におけるネガティブリストに掲載されたセクターに対しては、対象となる従業員一人当たりRM600/月が4か月間支給される。 												
受給要件	<ul style="list-style-type: none"> 対象の従業員 <ul style="list-style-type: none"> (i)2021年6月1日より前に社会保障制度(SOCSO)に加入している方。 (ii)雇用促進プログラムで雇用されていない方。 (iii)マレーシア国籍の方。 会社に対する条件 <ul style="list-style-type: none"> (i)2021年の月間売上が新型コロナウイルスのパンデミック発生前の2019/2020/2021年のいずれかの月と比較して30%以上減少している会社。 <p>(例)</p> <table border="1" data-bbox="528 1697 1318 1816"> <thead> <tr> <th>年度/月</th> <th>月間売上</th> <th>年度/月</th> <th>月間売上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020年1月</td> <td>RM100,000</td> <td>2021年1月</td> <td>RM69,500</td> </tr> <tr> <td>2020年9月</td> <td>RM120,000</td> <td>2021年9月</td> <td>RM78,000</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> (ii)会社はWSP4.0の補助金を受給するすべての従業員の雇用を維持しなければならない。 (iii)従業員と交渉を行った後であれば、就業時間または給与の減額を行うことが可能となる。 	年度/月	月間売上	年度/月	月間売上	2020年1月	RM100,000	2021年1月	RM69,500	2020年9月	RM120,000	2021年9月	RM78,000
年度/月	月間売上	年度/月	月間売上										
2020年1月	RM100,000	2021年1月	RM69,500										
2020年9月	RM120,000	2021年9月	RM78,000										

	(iv) 2021年6月1日より前に設立、または地方自治体のライセンスを取得した会社。 (v) 最大500人分までの支給となる。
申請方法	<ul style="list-style-type: none"> WSP 4.0は、https://prihatin.perkeso.gov.my/を通して申請する。 既にWSP3.0の承認を受けている場合であっても、WSP4.0を受給するためには別途申請の必要がある。

【WSP4.0の概要】

補助金プログラム	政府支援策	申請期間	支給対象となる従業員数の上限	対象セクター	受給期間 (一人当たりRM600/月)
WSP 4.0	PEMULIH	2021年8月1日～ 2021年10月30日	500人	すべてのセクター	2ヶ月間
				「国家回復計画」第3段階におけるネガティブリストに記載されたセクター ¹	4ヶ月間

¹ネガティブリストには、新型コロナウイルスの感染拡大の危険性の高い活動として、スパ、ビューティーサロン、パブなどが挙げられています。